

院内トリアージ実施基準について

当院では院内トリアージを実施しております。

院内トリアージとは、緊急度の高い患者様を優先して治療する体制です。

時間外、夜間、休日の来院時、看護師または医師が患者様の状態を確認させて頂いた上で**緊急度の判定（院内トリアージ）**を行い、緊急度の高い順に診察をさせていただきます。その場合、順番が若干前後することもございますが、ご了承頂きますようお願いいたします。

その後、待ち時間が長時間になるような場合は一定時間経過（30分）後に再度緊急度を確認させていただきます。

なお、お待ちの中に症状に変化がございましたら遠慮なくお申し出ください。

救急診療時間帯の重症患者様のすみやかな治療のためにご協力をお願い致します。

医療法人徳洲会 沖永良部徳洲会病院

院内トリアージ実施基準

1、目的

来院された患者の重症度、緊急度を判断し、優先順位を付けて、生命の危機的な状態にある患者様を早期に発見し適切な対応を行うことを目的とする。

2、判断基準

- ・トリアージは、患者様来院後ただちに外来にて担当者が行う。
- ・トリアージによって、次の3段階に判断する。

赤：直ちに医師へ報告、救急外来へ移動し、診察・治療処置を開始する。

黄：待合室にて待機可能か否かを医師に報告、相談し決定する

緑：待合室に待機可能。待ち時間が長い場合は再トリアージを行う。

身体的苦痛が強い場合：必要に応じて観察ベッドで待機してもらう。

- ・初回のトリアージ後、診察が始まるまで観察を継続し、必要に応じて（30分毎が望ましい）再トリアージする。

3、院内トリアージの流れ

1) 主訴の確認

2) トリアージレベルの判断

歩行の可否・呼吸の有無・呼吸数・脈拍・意識レベル

3) 問診

4、院内トリアージ手順（START法に準ずる）

